

次世代型商店街形成支援事業費補助金要望書

提出日 令和7年4月25日

1 事業者名	〇〇商店街振興組合
2 担当者職氏名	宮城 太郎
3 連絡先	TEL : 022-211-2746 FAX : 022-211-2749 E-mail : syokokins@pref.miyagi.lg.jp
4 補助事業について	
補助事業の区分	ビジョン形成 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決 ※該当事業を□で囲むこと
重点支援枠への該当	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ※該当区分を□で囲むこと
補助事業の概要	商店街の現状と課題を踏まえ、「地域住民に安心を提供する商店街」形成のため、空き家・空き店舗を活用した、日用品販売のための共同施設の整備及び等を行う。
5 その他	

※別紙1「事業計画書」（該当する事業区分）、別紙2「収支予算書」、別紙3「支出明細書」を添付すること。（事業の詳細等が決まっていない場合は、概要・概算額を記載願います。）

※「課題解決」に応募する場合は、商店街ビジョン又はこれに類する書類を添付すること。

別紙1（課題解決に係る事業計画書）

事業計画書

申請者名：〇〇〇

1 事業者及び商店街の概要

事業者名	〇〇商店街振興組合		
所在地	宮城県〇〇〇		
代表者名	宮城 太郎	組合員(会員)数	30人
	設立年月日	昭和〇年〇月〇日	
事業の実施場所 (商店街の名称、所在地等)	名称：〇〇商店街 所在地：宮城県〇〇〇 ※商店街団体以外が申請者の場合は関係する商店街や事業実施場所の範囲を記載してください。		
商店街の店舗数	〇〇店舗	うち空き店舗数	〇〇店舗
商店街や地域の特徴	※立地特性、来街者特性、商店街のもつ資源等を記入 昭和〇〇年に設立された〇〇商店街は、旧〇〇街道沿いの目抜き通りに位置しており、〇〇町における中心商店街の一角を担っている。 また、商店街自体がモダンな景観を形成し、周辺には風光明媚な観光名所が所在している。 こうした状況から、飲食店等の新規出店が見られる一方で、定住人口の減少、高齢化等による商圈縮小や後継者不足の影響で、最寄り品を扱う小売店などが閉店し、空き店舗も生じている。 店舗は最寄り品小売店〇〇店舗、飲食店〇店舗、●●店〇店舗で構成されている。 また、来街者の〇割は土日祝日の〇時頃に集中し、繁閑の差が大きい。		
商店街活性化のために、これまで取り組んできたこと	※過去、現在の取組を記入 地域に密着した商店街として、〇月には夏祭りを開催し、地元のお客さんで賑わいを見せる。また、近隣に商店街の魅力発信を目的として、隔月でマルシェを開催している。		
消費者・地域のニーズ等	※消費者・地域のニーズ及びその把握方法を記入 令和〇年に、求められている商店街像を把握するため、商店街への来客者や地域の方々に対して、アンケート形式のニーズ調査を行った。その結果、ニーズは「買い物が気軽にできる場」が最も上位で、「周辺観光への拠点」が続いた。		
商店街や地域の現状及び課題	商圈が縮小し、買い物環境が悪化する中、ニーズにあった「買い物が気軽にできる場」を維持していくために、便利で使い勝手の良い買い物環境の整備と需要の広域化を図ることが急務となっている。		

2 事業計画

事業の実施時期	令和7年7月 ～ 令和8年3月
商店街のビジョン（将来像、目指す姿、コンセプト等）の概要	「みんなが買い物を楽しめる街」 少子高齢化の進む地域にとっての「便利に買物できる場」でありながら、「観光客にとっても居心地のいい商店街」を目指し、現在のニーズに適合した商店街の形成を図る。
事業推進体制	〇〇自治会、まちづくり会社〇〇、〇〇町商工課及び観光課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇町〇〇ショップ」整備事業（ハード：重点支援枠） 空き店舗を活用し、共同販売スペースを整備する。 食料品や日用品を取り扱う商店街内外の事業者に出品・出店を募り、ワンストップで日常生活に必要な買い物をできる場を創出する。 あわせて、周辺観光地の特産品出品コーナーを設け、観光客からもニーズがある施設を整備する。 ・周遊ツアー推進事業（ソフト：通常枠） 商店街と周辺観光地情報を記載したマップ・スタンプ帳を作成するとともに、商店街ガイドツアーを実施する。
事業実施スケジュール	<p>〇月 空き店舗使用許諾に係る最終調整</p> <p>〇月～〇月 ショップへの出店・出品に係る調整</p> <p>〇月～〇月 ショップ内装工事、備品搬入</p> <p>〇月～〇月 マップ作製・広報委託業務発注</p> <p>〇月 プレオープン・ガイドツアー実施</p> <p>〇月 オープン</p>
次年度以降の取組	<p>ショップの自走化に向け、販路拡大の取組として物産品の通販等を検討する。</p> <p>スタンプ帳掲載施設の拡充に向けた調整のほか、ツアーについてはマルシェとあわせた隔月開催を検討する。</p>
事業実施により目指す効果	<p>ショップ運営に当たっては、地域住民、観光客、出店・出品希望者といった各主体のニーズを充足するよう努めることで、持続可能な買い物環境の確立を目指す。</p> <p>また、周遊型旅行推進事業により、商店街及び周辺観光地の魅力を深く理解していただくことを通じてリピータを獲得し、買い物環境も含めた商店街の持続的発展を目指す。</p>

3 その他の添付種類（必要に応じて）

- (1) 事業の対象となる商店街等の区域が分かる資料（地図等）
- (2) 事業者の概要及び活動内容が分かる資料（定款、構成員名簿、事業報告書等）
- (3) 事業内容が分かる企画書（必要に応じて）
- (4) ハード事業及び業務委託に係る見積書

収 支 予 算 書

(収入の部)

(単位：円)

区 分	金 額	備 考
県 補 助 金	4,740,000	
自 己 資 金	2,281,000	
そ の 他	3,000,000	※国及び地方公共団体の補助金を充当する 場合は事業名を記載 〇〇町〇〇事業費補助金
計	10,021,000	

(支出の部)

(単位：円)

事業区分 (ビジョン形成) (課題解決(ソフト)) (課題解決(ハード))	経費区分	補助事業に 要する経費 (a)	補助対象 経 費 (b) (≦(a))	補助金申請額 (c) ビジョン形成 (≦(b)×2/3) 課題解決(ソフト) (≦(b)×2/3) 課題解決(ハード) (≦(b)×1/2)	備 考
ソフト	委託費	660,000	600,000	400,000	
ソフト	事務費	330,000	300,000	200,000	
ソフト	広報費	231,000	210,000	140,000	
ハード(重点)	内装・設備 ・施工工事 費	6,600,000	6,000,000	3,000,000	
ハード(重点)	備品購入費	2,200,000	2,000,000	1,000,000	
合計		10,021,000	9,110,000	4,740,000	

※行が足りない場合は適宜行を追加すること。

支 出 明 細 書

（単位：円）

事業区分 (ビジョン形成) (課題解決(ソフト)) (課題解決(ハード))	経費区分	内 容	数 量	金 額	備 考
ソフト	委託費	プレオープンイベント及びツアーの企画		660,000	〇〇に委託
	事務費	会議費、消耗品費 印刷製本費		330,000	
	広報費	ショップ及びツアーに係る広告	2回	231,000	〇〇に掲載 商店街WEB サイトリニ ューアル
ハード（重点）	内装・設備 ・施工工事 費	壁、床、電気系統の 補修		2,200,000	
		商品棚の設置	5点	1,100,000	
	備品購入	業務用冷蔵庫の購入	1点	550,000	
		冷蔵棚の購入	3点	1,650,000	
合計			10,021,000		